

おおまち

ボランティアニュース

発行 大田市社会福祉協議会内
大田市ボランティアセンター
長野県大田市大町 1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

災害支援

“台風19号災害”

10月12日より長野県を含め、関東・東北の広い地域で台風19号による災害が発生しました。長野県内でも東北信地区で大規模な災害が発生し、各協力では「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアによる被災者支援が始まっています。

被災地支援に行くために…

- ・ボランティア活動保険への加入→大田市社協で加入してからボランティアに行きましょう。現地までの往復途上も補償の対象になります。加入受付は、土・日・祝日も行っています。受付時間、8時30分～20時30分までです。すでにボランティア活動保険に加入されている方は、新に加入する必要はありません。
- ・最新の情報は→長野県社協のホームページ「災害ボランティアセンターの活動状況」で、受け入れ状況や時間・持ち物等を確認の上、支援活動をしてください。



義援金箱の設置

市総合福祉センターに『台風19号災害』の義援金箱を設置しました。募集期間は、令和2年3月31日までです。みなさんのご協力をお願いします。

季節到来

ひまわりの家 やきいも

毎年 ご好評をいただいています「ひまわりの家のやきいも」今年も販売を始めます。

初売りは…11月6日(水)

販売は…毎週水曜日

時間は…午前10時～午後3時

場所は…市総合福祉センター
玄関前テント

値段は…100g 100円

1本200円くらいからです。

・注文や配達も承ります。

・注文用紙もお届けします。

お気軽にお電話ください。

ひまわりの家 TEL 22-4956

FAX 22-4958

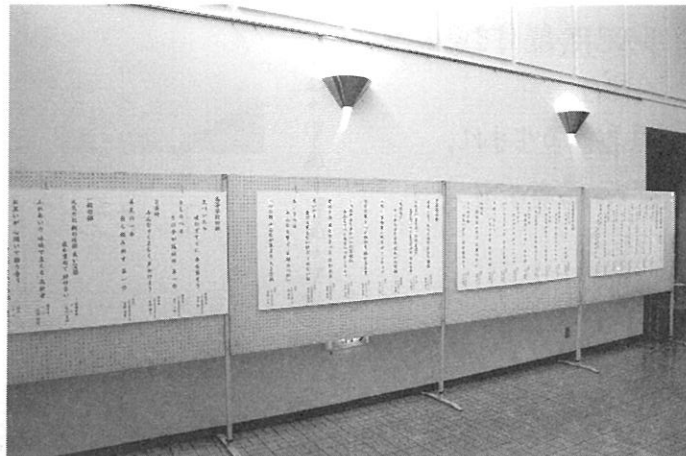
みんなで考えよう

地域の みらい

福祉啓発標語募集

「ふくしのまちづくり」を啓発する標語を募集します。

大田市社協では、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めています。誰もが尊重され、自分らしく生活でき、安心して暮らし続けることができる地域をつくるのが求められています。そこで、市民一人ひとりが、地域への思いやりと「ふだんのくらしにいいあわせ」を感じられる地域づくりを目指す標語を募集します。



福祉大会で発表



募集部門・応募方法・締め切り等は、次のとおりです。

題材は、福祉に関するものであれば、自由です。

例えは…

- ・ボランティア活動をして
- ・地域や施設で交流して
- ・地域行事に参加して
- ・福祉体験をしてみ
- ・災害支援や募金をして
- ・未来の福祉 など

募集部門

- ・小学校 低学年の部
- ・小学校 高学年の部
- ・中学校の部
- ・高等学校の部
- ・一般の部

応募方法

- ・作品は、一人一点
- ・小・中・高校生は、担任の先生を通

して応募してください。
一般の方は、住所・氏名・連絡先を明記し、郵送かFax等で応募してください。
締め切り 12月27日(金)

表彰と発表

各部門の、最優秀賞・優秀賞・佳作の作品には、賞状と記念品を贈ります。また、応募された方には、参加賞をお贈りします。

表彰は、令和2年2月1日開催の「大田市社会福祉大会」で発表し表彰します。

入選作品は、社協事業で活用します。

応募・問い合わせ

大田市社会福祉協議会

〒398-0002
大田市大町 1129

TEL 有線 22-1501 / FAX 22-7071

住民公開講演会

地域で支えるみんなの介護

大北圏域介護保険事業者連絡協議会(事務局 大町市社協)では、11月1日の「介護の日」にちなんで、公開講演会を行います。10回目となる今回は、心と身体のリフレッシュを目的に開催します。どなたでも参加いただけます。

日時 11月30日(土)

午後1時30分～3時

会場 農協会館 アプロード

3階 レインボーホール

内容 演題 「お笑い授業」

～笑いは元気のエッセンス～

講師 高橋なんぐさん

(新潟お笑い集団NAMARA所属)

2018年「フードバンクにいがた大使」

「新潟県警 防犯機能付き電話買

おうぜ大使」に就任。

1981年新潟県長岡市生まれ。

教育関係、学校での講演は、延べ

1300回を超えぬ。

※要約筆記あります。

申し込みは不要です。

問い合わせ 大町市社協 TEL有線 22-1501

勉強会 開催

「ともに生きる ともに創る地域」 めざして

大北障害保健福祉圏域自立支援協議会(事務局 スクラム・ネット)では、障害児者支援施策の動向や意思決定支援について学び、全ての人が尊重され、居場所や役割を持って活躍でき、安心して困ることができる社会を創るには…

みんなで考えてみませんか、どなたでも参加いただけます。

日時 11月2日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 大町合同庁舎 5階 講堂

講師 又村あおい氏

(日本発達障害福祉連盟の「Jレニユース」編集長

「発達障害白書」編集委員、内閣府障害者差別

解消法アドバイザー)

※要約筆記あります。

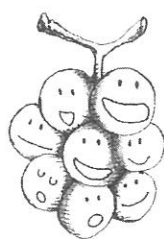
申し込みは、スクラム・ネットまで

TEL 26-3855 FAX 26-3856

かいさい中 河合まこと絵画展

諏訪市在住の画家、河合まことさんの絵画展を、市総合福祉センター エントランスホールで開催しています。今年も、河合さんのご厚意により24点の作品をお借りすることができました。また、河合さんの花の詩画集やポストカードの販売も行っています。

開催期間 11月4日(月)まで
開催時間 8時30分～20時30分
土・日・祝日もご覧いただくことができます。
ぜひ、この機会に大勢のみなさんに鑑賞いただきたいと思っています。



エントランスホールで展示中

「河合まことさんプロフィール」
17歳の時交通事故で首から下の自由を失い、車いすでの生活を余儀なくされる。20歳の時口で絵を描くことに出会い、以来水彩画・油絵・日本画・水墨画などを書き続けている。36歳で「ボタニカルアート」を描き始める。描いた花へのお礼にと自作の詩を添えている。

ボランティアの カカリ

イベントの続くこの時期、10月3日に行った障がい児者希望の旅に8人、10月5日～6日開催の29北アルプスフェア普遊がコーナーに延べ9人、多くのボランティアの方々にお手伝いいただき、各事業を無事に終了することができました。

希望の旅のボランティアは、「毎年参加するけど、みんなうれしそうだった」。普遊がコーナーのボランティアは、「童心にかえて、とても楽しかった」「楽しそうに遊ぶ家族の姿はいいね」との感想をいただきました。
ご協力ありがとうございました。



身でできるボランティア

誰でも気軽にできるボランティアとして、収集や募金・義援金の協力をお願いしています。収集ボランティアは、ちょっとの手間で、ゴミとならず再び活動の資源となります。

- ・使用者み切り…封筒に貼付のまま切手のまわりを約1cm以上残す。
- ・使用者テレホンカード(未使用可)
- ・図書カードなどのカード類
- ・書き損じハガキ
- ・不用ハガキ



にぎわった「普遊がコーナー」

- ・余り毛糸…ひざ掛けモーターフに市内の福祉施設に贈ります。
 - ・アルミ缶…ひまわりの家で使用
 - ・綿製品…清拭布として使用
 - ・タオル…市内福祉施設で使用
- 届け先は、大町市ボランティアセンター(市総合福祉センター内)まで